

|                |      |                             |       |
|----------------|------|-----------------------------|-------|
| Drawing No.    | REVI | Drawing Name                | Sheet |
| YP1-101-D12-01 | -    | 屋外HD ネットワークコンビネーションカメラ施工基準書 | 1/2   |

機種名 VN-H658WP

表示なき単位：mm

寸法図

・ケーブル長：約650 mm

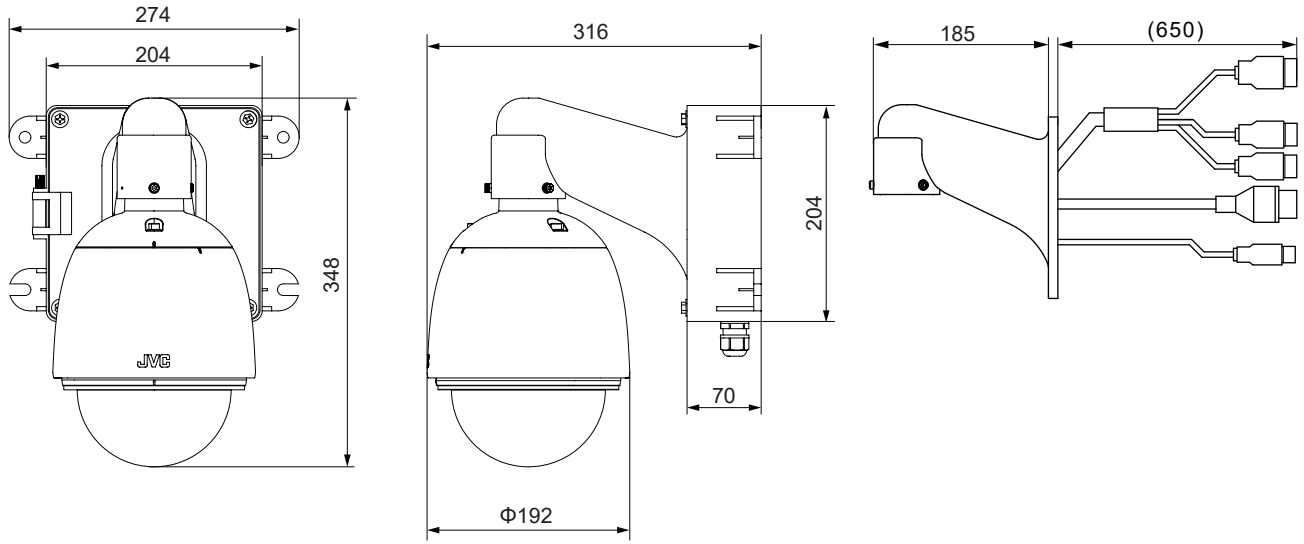


図1 寸法図

規格

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 本機質量  | 本体：約3.3 kg / 壁面取付ブラケット：約3.0 kg |
| 締付トルク | M10：18.8 N・m(192 kgf・cm)以上     |
|       | ボックス部ねじ：3.4 N・m(35 kgf・cm)以上   |
| 取付精度  | 水平 ± 5°以内                      |

使用材料

(添付されていません)

|           |                                       |
|-----------|---------------------------------------|
| アンカーボルト   | M10 × 35 mm以上 ステンレス製(推奨引き抜き荷重2000N以上) |
| ナット、ワッシャー | M10 ステンレス製                            |
| 落下防止ワイヤー  | ステンレス製                                |

施工例

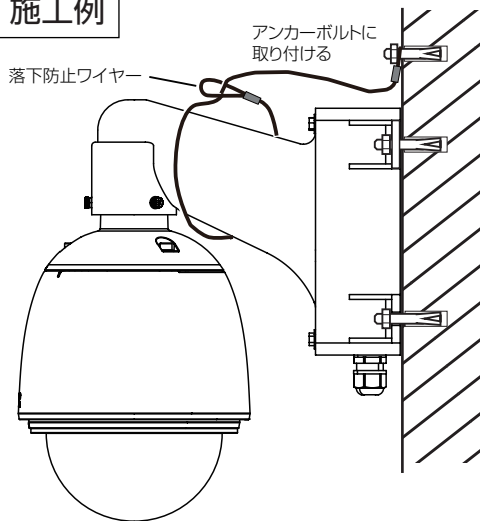


図2 施工例

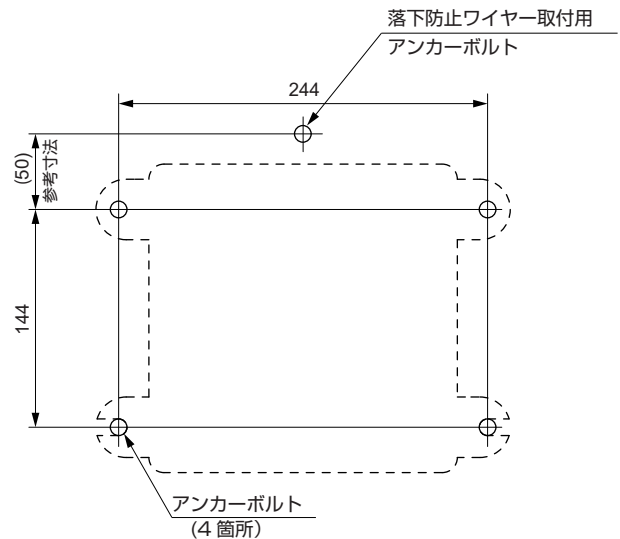


図3 施工寸法図

|                |      |                             |       |
|----------------|------|-----------------------------|-------|
| Drawing No.    | REVI | Drawing Name                | Sheet |
| YP1-101-D12-01 | -    | 屋外HD ネットワークコンビネーションカメラ施工基準書 | 2/2   |

機種名 VN-H658WP

表示なき単位：mm

### 施工手順

1. カメラ取付用4本と落下防止ワイヤー用1本計5本のアンカーボルト（長さ35 mm以上）を立てる。
2. 本機を取付ける。（詳細は、取扱説明書（設置編）参照。）
3. 落下防止ワイヤーを取付ける。（詳細は、取扱説明書（設置編）参照。）

### 注意事項

1. 施工面強度は、本機の総質量の10倍以上の強度を確保すること。  
強度が取れない場合は、必ず補強を施し、強度を確保すること。
2. 落下防止ワイヤー（付属していません）の材質はステンレス製とし、本機質量に十分耐えられる強度（本機総質量の10倍以上）を確保すること。  
落下防止ワイヤーは、先端金具かしめ部分の強度にも注意すること。
3. 壁面取付ブラケットのボックス内は、防水対応ではありません。  
ケーブル接続部（図4破線部）は、防水テープにて確実に防水処理を施すこと。また、使用しないケーブルも必ず防水処理を施すこと。
4. ケーブル接続部が雨水にて水浸しないよう考慮すること。  
ボックス内に雨水の浸入が予想される場合は、水抜き穴のキャップを取外すこと。
5. 防水性が損なわれるため、使用しないケーブルは切断しないこと。
6. 施工中の落下を防止するため、本機付属の落下防止ワイヤーを必ず指定の場所（取扱説明書（設置編）を参照）に取り付けてから配線すること。
7. 本機は、本書および取扱説明書（設置編）に定められる施工が正しく行われ、適切な防水処理が施された場合にのみ防塵・防水（IP66）性能が維持できます。
8. 本機と接続するLANコネクタの寸法は全長24mm以下とすること。（図5参照）  
LANコネクタの寸法が長くなると、防水用のコネクタカバーが取り付けできません。（コネクタカバーを使用する場合は、コネクタカバーにLANケーブルを通してから、LANコネクタをかしめる必要があります。）指定サイズより大きいLANコネクタを使用する場合は、ビニール袋で養生する等、防水対策を施すこと。
9. 本機には避雷器を確実に接続し、雷害による対策を施すこと。
10. microSDカバーを完全に閉めること。（図6）  
microSDカバーの閉め方が不完全の場合、カメラが回転した際にドームカバー等と接触する恐れがあります。
11. AC24Vと接続する場合の電源ケーブルは、表1を参考に選定すること。
12. カメラを暖かい場所から寒い場所へ移動するような急激な温度変化によっては、ドームカバー内側に結露が発生する場合があります。  
この場合は、しばらく放置して結露が取れてから電源を入れてください。
13. ヒーター使用時、本機の動作周囲温度は-40℃～55℃ですが、起動温度は-30℃以上です。  
-30℃を下回る環境では起動できません。

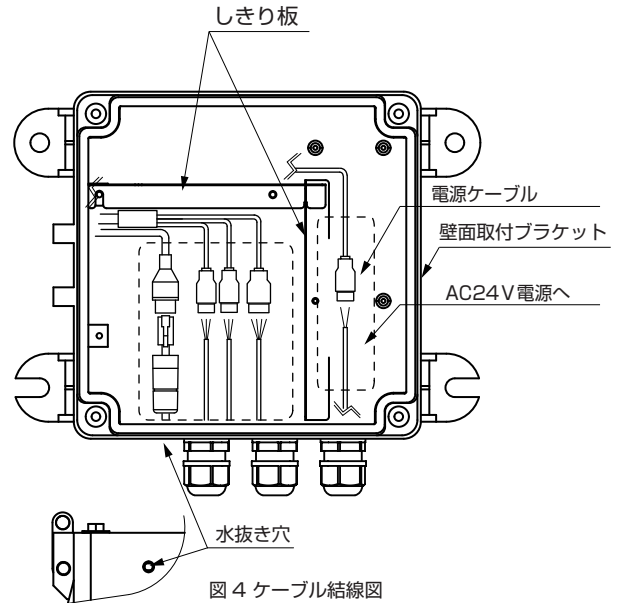


図4 ケーブル結線図

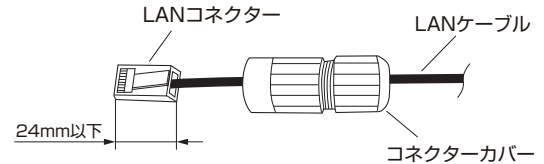


図5 LANコネクタ寸法

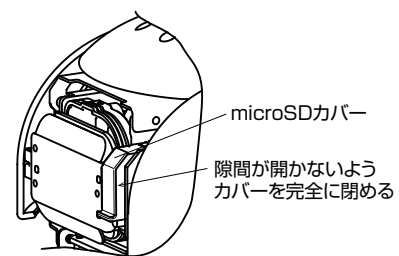


図6

表1 AC24V電源ケーブルについて

| 導体直径 (mm) | 最大接続距離 (m) |
|-----------|------------|
| Φ1.0以上    | 30         |
| Φ1.6以上    | 80         |
| Φ2.0以上    | 130        |
| Φ2.6以上    | 220        |